

60年代後半のジミー・ウェブの出現はショックだった。リチャード・ハリス（アイルランドの映画俳優）の68年No.2ヒット「マッカーサー・パーク」は当時のポップヒットの常識を破る7分21秒の長さ。そしてアルバムはオーケストラの間奏で各曲を繋いだ「ア・トランプ・シャイニング」はトータルアルバムだった。以降ポップス＝2分半の恋歌、ポップスアルバム＝ヒット選集という式は有名無実となってゆく。十年余のポップスの時代から十年余のロックの時代へと移るのである。そして5thディメンションに関与した2枚のアルバム、中でもセカンドの「マジックガーデン」がやはりコンセプトアルバムだった。しかし日本ではコンセプトなどお構いなし、2枚を無理やり1枚に独断選曲してファーストを出した（ジャケットは1枚目のデザイン）が、当時の聞き手は事情もわからず感激のものであった。あのママズ&パパスに黒人のソウルと宗教音楽とカントリーフレーバーを混ぜた、といっても説明がつくものでもないが。

大学卒業の年であった。集まりで友人の地主君の家を訪れた。彼は東北大学からの編入生で、オファー・コースというバンド（後に有名、小田和正在籍）をしていたそうである。歌では食えないということで、建築の道に入ったそうだ。ギターとボーカルが得意でコーラスやハーモニーの話して意気投合した。何故かその時持って行ったこの2枚のアルバムを貸してしまった。以来30年、。後にR・ハリスは運よく中古盤を再ゲットした。一方CD復刻の80,90年代、どうしても5thディメンションだけが出てこない。あの「マジックガーデン」の曲が半分でも入っていたらどう日本でのファースト、今やコンセプトには目をつぶっても骨董ものであろう。彼は竹中工務店の東京で活躍中、神様どうにか再会の日の恵みあれ！



R・ハリス/ア・トランプ・シャイニング1968



1st/5thディメンション 1968

トークアバウト・・・とは、「・・・の話なら」、「・・・っていうのは」から「最高の・・・!」とか「すごい・・・!」という意味に転じる はなし言葉です。文化の様々な面について考えている建築家を中心とする方々のエッセイ。いずれはきっと建築設計と結び付く「とっておきの話」となることでしょう。

平成11年9月号
平成11年9月2日発行
JIA 近畿支部住宅部会
代表世話人 小南一郎
委員長 星野康彦 編集長 市居博

執筆者連絡先

- 芦田喬（あしだ・たかし）（資）共立製材所・氷上郡氷上町賀茂2-3 TEL 0795-82-2017
- 市居博（いちい・ひろし）市居総合計画事務所・大阪市西区靱本町1-18-8本町ウツボビル TEL 06-6449-7797
- 彼末れい子（かれすえ・れいこ）坂倉建築研究所／橋本健治・大阪市西区京町堀1-15-7 TEL 06-6443-0021
- 小南一郎（こみなみ・いちろう）小南一郎建築研究所・大阪市淀川区西中島4-4-25-1012 TEL 06-6303-0563
- 鈴木道子（すずき・みちこ）MLA ARCHITECT・大阪市西区京町堀2-14-20 OFMAウツボビル909 TEL 06-6445-9671
- 林進（はやし・すすむ）岐阜大学農学部教授・TEL 058-230-1111
- 星野康彦（ほしの・やすひこ）寺崎興発建築士事務所・大阪市阿倍野区阪南町テラスキビルTEL 06-6622-8627



1999 SEPTEMBER・9

トークアバウト・・・第2巻第6号

木の汁を吸って四十五年

・・・芦田 喬 01

雲といっしょにアイルランドに行く

・・・彼末れい子 03

具象からの発想／言葉のデザイン

・・・林進 07

街に住まう

・・・小南 一郎 10

台風とタイフーン

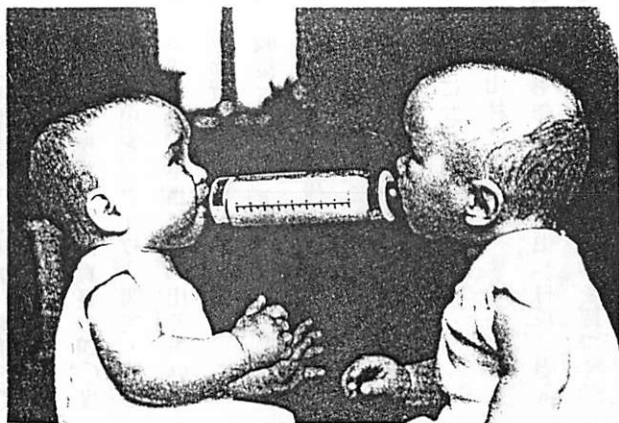
・・・星野康彦 11

フィレンツェアルノ河畔にて

・・・鈴木道子 12

2枚のレコジャケ

・・・市居博 16



木の汁を吸って四十五年

芦田 喬

私と木の関わりは、神戸の宮下木材での見習いが始まりでした。五年ほど修業した後、実家の方へ帰り、製材業の道に入り、四十五年経過しました。

私は一つのことと専念するよりも、何か新しいことを起こすのが好きで、副業として色々挑戦してきました。テニスの経営に始まり、昭和五十五年には、小径木を利用した小径木の組み立てハウスとログハウスのキットを作り、展示会や各地の催しに展示したこともありました。ちよつとこれは今から思いますと早すぎる感があつた様に思いますが、いま現在もログハウスの研究にあたっております。また、昭和六〇年頃より迷路のブームの時にはイベント用の組み立てパネルを使った木